

目的・目標

欧州での公演ツアーを舞台に、当団の次世代の担い手である若手の楽員・職員が本場での演奏機会と聴衆、音楽文化に触れる体験を持ち、日常の演奏活動に成果を反映させることで、事業継続に必要な力を醸成する。また、欧州の音楽業界との人脈を開拓・維持し、日本のオーケストラの国際的プレゼンス向上と、邦人作曲家の作品紹介を通じて日本の文化力をアピールすることを目指す。

概要

2024年秋にドイツと英国の計8都市で演奏会を行う。指揮者は常任のヴァイグレ。日本人ピアニストの藤田真央らを共演者に迎える。プログラムにベートーヴェンやラフマニノフらの作品に加えて伊福部昭や武満徹の作品を盛り込む。ツアーの様子は動画に記録し、英語で発信する。帰国後のアンサンブル演奏会でツアーに参加した若手を登壇させ、世界の一線で活躍するリーダーとの共演を通じて芸術水準向上を図り、この様子も動画に記録して海外を意識した発信を行う。

3年目までの取組

24年10月中～下旬の公演ツアーで邦人作曲家の作品を紹介して日本の「音楽力」をアピールし、楽団の知名度向上を図る。楽員は本場の評価を受け、職員は現地で人脈を作り、ステージ運営の知見を得る。ツアーを動画に記録して25年度に発信開始。25～26年度は年4回のアンサンブル公演に欧州ツアーを経験した若手が登壇し、リーダーとの協働を経て芸術性を高め、舞台で成果を発表する。これも動画に記録し、海外へ発信する。



5年目までの取組



若手楽員の芸術的力量的の向上やステージ運営の改善に引き続き取り組み、アンサンブル演奏を通じて海外への発信を重ねていく。同時に、客演陣のグレードアップなど当団のプレゼンスのさらなる向上、日本のオーケストラの格の向上に資する取り組みを、欧州の人脈と経験を活かして若手制作スタッフが始動させる。次期海外ツアーの実施について、可否を含め、若い世代による検討作業に着手する。



中核となるクリエイターやアドバイザー

【セバスティアン・ヴァイグレ】

2019年から読響の第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者から指揮者に転身。リセウ大劇場、フランクフルト歌劇場の音楽総監督などを務め、世界各地の有名オケと共演を重ねている。



【日下紗矢子】

ヴァイオリニスト、読響特別客演コンサートマスター。2000年パガニーニ国際コンクール2位。豊かな世界での経験をもとに、若手楽員との共演で的確なアドバイスを行いながら演奏を率いる。



(分野・ジャンル)

音楽・オーケストラ

(渡航先の国・地域) ドイツ(ニュルンベルク、ベルリン、ハンブルクなど5都市)、イギリス(バーミンガム、ロンドンなど3都市)(2024年)

(国内外の連携・協力体制) 在ドイツのLee Music社と公演の開催交渉、宣伝、切符販売などで包括提携。ツアーは㈱読売旅行へ委託し、報道・配信で読売新聞社、動画制作で日本テレビ放送網と連携する。アンサンブル公演では会場のトッパンホールと連携する。

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等々に登用される若手クリエイター等の数	36人
国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	13件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	2人
国内外で展開される公演・展示等の数	20回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	12,700人

育成対象者: 30人

楽員24人と、制作・事業・舞台スタッフから選抜した6人を対象とする。各分野の中堅・ベテランがプロジェクト推進にあたって指導・助言を継続的に行い、取り組みが目標の達成に向かって進捗していることを確認する。

欧州公演ツアーでの経験を通じて次世代の担い手を育成し、今後の公演活動に活かす



各分野の中堅・ベテラン、特別客演コンサートマスターらが継続的に指導・助言する

公演の企画・立案から実施に至る各段階での関与・連携を若手が経験する

読売日本交響楽団育成対象者 30人 (楽員24人＋スタッフ6人)



欧州公演ツアーでの経験を、小編成のアンサンブル公演を通じて個々のレベルアップをはかり、将来のフル編成のオーケストラ公演に活かす

(株)読売旅行 ツアー行程、楽器運搬

読売旅行は、国内オーケストラの海外公演で多くの実績を積んでいる。安全・確実、ストレスの少ない人員の移動と楽器の運搬は、公演活動の最重要基盤である。綿密な計画、打ち合わせ、交渉を必要とするツアーの経験を通じて、将来の海外公演を担う次世代スタッフの育成につなげていく。

読売新聞社 報道・配信

24年欧州公演ツアーに文化担当記者が同行する。ツアーの様相を読売新聞を通じて広く伝える。当団側職員による取材への協力、的確な情報提供を行うことで、次世代の広報・宣伝スタッフを育成する。

日本テレビ放送網 映像素材・動画等の制作

24年欧州公演ツアーを撮影チームが取材し、番組を制作する予定。多くの動画素材を収録し、読響がツアー後に英語の動画に仕立ててネット上で海外を意識して発信する。

Lee Music GmbH 在ドイツ当団代理店

24年欧州公演ツアー全体をマネジメントする現地代理店。現地会場との交渉から宣伝・集客・チケット販売までを行う。当団スタッフが代理店との交渉を通じて、現地の人脈を広げ、将来の海外公演を担う力を身につける。

公演開催地の主催者 制作・運営などで連携

国内外とも公演開催地の主催者、会場の舞台スタッフとの綿密な調整は、演奏会の円滑な運営に欠かせない。24年欧州公演ツアーを通じて得た知見を、将来の国内外の演奏活動に活かしていく。

トッパンホール(東京) アンサンブル公演の主会場

年4回のペースで「読響アンサンブル・シリーズ」を開催している。大規模公演よりも、演奏家、スタッフ、舞台関係者との距離感が近い環境での公演を企画、実施することで、次世代を担う楽員、スタッフの一体感を醸成していく。